

西(せい)よ

議会だより

第37号
6月
定例会
2013

2013.7.22発行

- 6月補正予算.....P2
- 一般質問.....P8
- 常任委員会.....P5
- 政務活動報告.....P14



どろんこ祭り

特集 P13

まちかどインタビュー「三瓶」

西予議会だより 第37号 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai/> E-mail gikajimu@city.seiyo.ehime.jp



三瓶・蔵貫地区
みかんと稲と海

明浜・狩江地区
みかんの段々畑

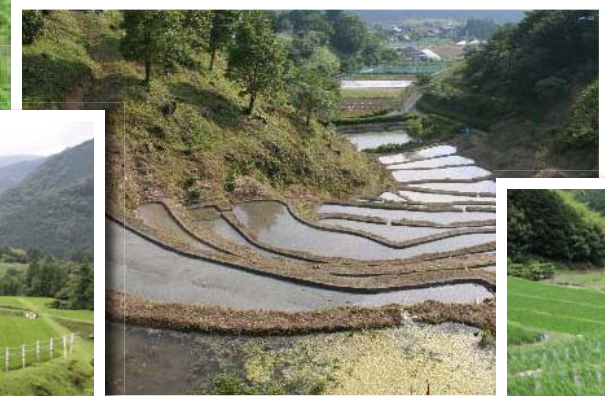
ツルとコウノトリが来る水田 宇和・石城地区

TPPからも...限界集落でも...
守りたい・継ぎたい

西予の田・畑



野村・豊川地区
西予市で最も標高の高い水田



野村・子子林地区
歴史の口マン薫る「天空の棚田」



城川・田徳地区
棚田百選「堂の坂の棚田」

- 編集委員
- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 井関 陽一 |
| 副委員長 | 中村 敬治 |
| 委員 | 源 正樹 |
| | 二宮 一朗 |
| | 兵頭 孝志 |
| | 宇都宮 明宏 |
| | 元親 孝志 |



編集後記

議員21人で船出をして早くも1年が過ぎました。

新たな編集委員で「分かりやすく・親しみやすい」を目標に、皆様方から愛される議会だよりを発行出来たますよう、力を合わせて頑張りますのでよろしくお願致します。

⊕



野村病院待合ロビー

6月定例会は、6月10日～28日までの19日間の会期中で開催されました。議案は、諮問1件、議案14件、報告10件、追加議案2件と請願1件、陳情1件を審査しました。

10.4%

若者が残れる町づくりを

西予市も5町が合併して、10年目を迎えました。豊かで安心して暮らせる市政の推進に努めていかなければなりません。しかしながら、国際情勢や防災、環境問題等、諸課題が山積しており、大変厳しいものがあります。

中でも大切なことは、産業の活性化を図り、生活基盤を確立して、若者にこの西予市に残ってもらうことでもあります。そのためには、住民一人一人の力を結集した政策の推進が重要な課題となっております。

その住民の力を育て、結集するのが議会や議員の大きな役割であります。議会運営にあたり、その規範ともいえるべき「議会基本条例」の本旨に則り、非常に厳しい情勢の中で、地域の未来を切り開くために、全身全霊で取り組んで参りたいと決意を新たにいたしました。



浅野議長・二宮副議長が新しく就任

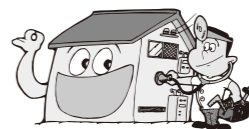
国民健康保険税 苦渋のアップ決定

6月主な補正予算

庁舎耐震化事業

1千652万円

各地域の防災拠点となる野村・城川支所庁舎の耐震化を図るための耐震診断及び耐震補強設計にかかる経費



城川帰楽苑 管理運営事業

1千302万円

当施設は火葬場及び斎場の機能を併せ持った施設であるが、斎場スペースが十分でなく利用に支障があるため、斎場部分の増築を行う経費

集落営農育成 強化対策事業

325万円

市内で運営されている5つの放課後児童クラブの内、「ななほし中川(西予総合福祉会)」の登録児童数が増加したこと等による委託料の増額



地域農業の維持・発展を支える集落営農組織の確保・育成を図るため、集落営農組織の規模拡大や経営の多角化に必要な機械の導入等に対する補助金



新規作物等 産地育成事業

338万円

薬用植物の産地化を推進するため、生産拡大等に必要となる機械等の整備に対する補助金



『薬用植物ミシマサイコ』

関地池地区農業水利施設保全合理化事業

315万円

老朽化が著しい関地池を水源とする農業用水路の改修の実施計画策定にかかる経費。改修工事は県営で実施予定。



田の浜漁港

田の浜(高山)漁港 越波防止対策事業

1千万円

西防波堤の修正設計により、消波工の延長が必要になったことによる事業費の増額

林業(切り捨て間伐)にかかる経費。事業は地権者である西予市が実施し、事業費は森林総合整備研究所が全額負担

消防団 施設整備事業

1千691万円

耐震性貯水槽3基(宇和・坂戸、野村・惣川、城川)下相の設置にかかる経費

防災行政無線 デジタル整備事業

1千607万円

野村地域デジタル化に併せて、Jアラート(全国瞬時警報システム)自動起動装置整備及び全市域対象の緊急速報メール配信装置導入にかかる経費

水田農業対策事業

229万円

安全・安心な地域ブランド米の取り組みを推進するための販売促進や機械整備に対する補助金



市有林管理事業

516万円

西予市と独立行政法人森林総合研究所の分収契約林において実施する造

市道宮崎川西線・市道脇宮崎線改良事業

1千628万円

俵津小学校に接する狭隘な、市道2路線の拡幅を行うための測量設計等にかかる経費

ジオパーク 推進事業

340万円

西予ジオパーク構想地図データベース作成、案内看板作成等の経費

教育委員会

事務局運営事業

576万円

中学生を対象に開催する熊本県知事蒲島郁夫氏の講演会、野村中学校学枝林の造林業務委託及び産休代替臨時職員の雇用にかかる経費

明浜地区小学校
統合校舎建設事業

840万円

校舎建設に伴い、撤去が必要となった俵津小学校プール解体工事費

中学校

施設整備事業

597万円

宇和中学校のバリアフリー化工事にかかる経費



文化財保護推進事業

439万円

市指定文化財「松の窪堂」(野村町平野)の茅葺屋根が老朽化し、修繕に必要な茅の入手が可能となり、実施される修繕に対する補助金



修繕が待たれる「松の窪堂」

体育施設

耐震化事業

2千633万円

明浜西体育館・野村体育館・三瓶体育館の耐震診断及び耐震補強設計にかかる経費



給食センター
建設事業

297万円

老朽化が著しい宇和学給食センター、及び作業効率の課題を抱える野村地域の自校式単独調理場について、それぞれ給食センターを新築するため、候補地の不動産鑑定、物件調査にかかる経費

新市立病院への交通対策は

総務常任委員会

どうする？

審査報告

何処に貸す？

杉之瀬診療所

オムロンの下請け会社で資本金1千万円、平成23年の売上高が88億円、セルコジャパン系列で太陽光発電のパワーコンディショナーを制作している東予産業に年契約(112万5千円)で貸し付けます。

公用車に追突

備品購入費275万

おイネウォークの帰りで公用車が追突され、それと同じ10人乗りの乗用車を購入する予定です。



文化会館裏の駐車場

質疑

6月補正予算を質す

問 国保税10.4%アップに至った背景と、今後の見通しについて

部長 高齢者率の上昇や景気の低迷等によって、国保会計の単年度収支赤字が続いています。制度の主旨から、本来一般会計から繰り入れるものではないため、国保税の改正を行いました。今後については、突発的な事故(インフルエンザ等)を考慮して、一般財源を充てて基金等の積み立ても検討していきます。

問 造林業務委託について、この場所、面積、仕事の内容はどのようなものなのか。

部長 惣川生産森林組合が、昭和43年に小屋山国有林に、6.89haのヒノキを植林した後に旧惣川中学校林となり、国と分収林契約を結んでいて期限がきたが、現在は材価が安いいため、契約延長し、徐間伐をするための経費です。

問 給食センター建設費(宇和・野村)について、将来はどの範囲に配食する計画なのか。

部長 宇和で2千食を賄える規模とし、将来的には明浜、三瓶

問 城川帰業苑管理運営事業について、予算の内訳と庭の巨石の撤去について

部長 城川帰業苑管理運営事業について、予算の内訳と庭の巨石の撤去について

問 小学校の統廃合の結果、当面13校が廃校となる。跡地利用も検討しなければならぬが、当面取り壊し撤去計画書を作成すべきではないか。

部長 小学校の統廃合の結果、当面13校が廃校となる。跡地利用も検討しなければならぬが、当面取り壊し撤去計画書を作成すべきではないか。

問 地域部会で協議・検討してもらっています。計画書も並行して作成していきます。

部長 地域部会で協議・検討してもらっています。計画書も並行して作成していきます。

市職員だけ？

文化会館裏の駐車場の有料化

有料化に向けて職員組合と検討中です。

内容は？

Jアラートの対応は

地震、大津波、ミサイルに対して、平成22年に導入しアナログ放送で5町に対応しています。野村町に関しては、デジタル化に対応して自動起動になります。また、その他の地域も緊急速報メールで対応する予定で周知を図ります。



解決出来ないか？

消防詰所の建て替え、団員の条例定数の問題は

総務委員会と消防団幹部との話し合いの場を設けた上で、検討いたします。



デマンドタクシー(城川町)

交通対策は？

新病院へのアクセスは

多田・中川エリア、石城・旧町エリアは乗合デマンドタクシーで1.5から2回往復で対応し、田野中↓新病院、板ヶ谷↓新病院は生活交通バスで対応し、三瓶については、増便と路線変更にて対応したい。

所管事務調査

各支所にて、地域づくり交付金の優良事例や協

構成委員

- 委員長 松山 清
- 副委員長 井関 陽一
- 委員 元親 孝志
- 沖野 健三
- 森川 一義
- 浅野 忠昭
- 酒井宇之吉

力隊について説明を受けました。野村では、改築予定の野村小学校南校舎や児童施設建設予定地の確認を行い、城川では、デマンドタクシーの運行状況を調査し、三瓶では、小学校の建設現場で説明を受け、朝日文楽会館の建設予定地を視察し、明浜では、支所の建て替えについて意見交換し、宇和では、監理用地課に入札制度と市単独緊急経済対策事業の入札状況について説明を受けました。

国民健康保険税条例の改正

厚生常任委員会

審査報告

低所得者への配慮を！

保険税条例の改正

問 改正の必要性和その概要は。

答 国保税収の減少で基金を使い切り、一般会計からの赤字補填で運営してきました。平均引上げ率^{10.4%}、一人当たり年額6千900円増の7万3千円程度となります。改正により年額約8千万円の増収で基金積み増しも可能となります。

低所得世帯には軽減制度の適用もあり、今後も予防医療に努め検診や保険料

健指導の実施率向上を目指す。

事業概要等は？

城川帰楽苑管理運営事業

1千300万円

増改築の測量、設計、監理委託料及び工事請負費

問 増築の必要性和工事概要は。

答 現施設は収容人員約70名と葬祭に手狭なため、48㎡増改築し40名増の110名まで収容可能となります。

介護認定調査補正

37万6千円

嘱託職員賃金及び社会保険料

問 市内の認知症高齢者と軽度認知障害者の人数や支援策は。

答 4月現在で介護認定を受けられた中で千983名。軽度は把握していません。支援策は国のオレンジプランや掛かり付け医、地域包括支援センターへの相談、認知症サポート医への受診等があり、早期発見、早期治療が大切に引き続き予防教室等に取組んでいます。介護認定調査員は本庁4名、

支所に6名、計10名の有資格者を配置してあります。

泌尿器科医師着任

宇和病院事業給与費補正

1千649万円

整形外科医につき、平成18年から不在だった泌尿器科医師に7月から着任いただき、透析にかかるシャントの手術が可能となります。

請願第1号

産業廃棄物処理施設建設反対を求める請願書

継続審査

陳情第2号

年金2.5%の削減中止を求める陳情

不採択

所管事務調査

調査箇所①

6月補正予算の城川帰



市民課の窓口



城川帰楽苑全景

ジオパーク認定への取組は

産業建設常任委員会

審査報告

もつと周知を！

ジオパーク推進事業

340万円

地図データベース作成、案内看板作成の経費

問 看板やのぼり旗等の設置がもつと必要ではないか。

答 案内看板は、見やすさ等を重点に現在準備中。のぼり旗は、完成予定です。ポスター・公用車へのステッカーは、計画的に周知します。

問 来月予定の認定委員会現地調査の内容は。

答 7月下旬に調査員が来市します。ジオポイントを2ヶ所程度視察し、審査においては、ガイドや地元住民との意見交換も重視される予定です。

内容は？

新規作物等産地育成事業

338万円

ミシマサイコ生産拡大に伴う機械整備への補助金

問 ミシマサイコの現状は。

の現状は。

答 作付面積9.4ha、栽培戸数36戸です。根と種子を全量出荷しています。

集落営農育成強化対策事業

325万円

集落営農組織の規模拡大や経営多角化に必要な機械導入費への補助金

水田農業対策事業

229万円

地域ブランド米の販売促進や機械整備への補助金

所管事務調査

明浜町では、依津地区で新小学校建設工事に伴い、市道2路線拡張工事が予定されています。

三瓶町では皆江漁港で高波防止のための護岸工事、有太刀漁港では堤防整備、三瓶港では老朽化した施設の改善工事が行われています。

野村町では昨年の集中豪雨により被災した林道復旧工事が行われています。

構成委員

委員長 宇都宮明宏
副委員長 源 正樹
委員 菊池 純一
松島 義幸
藤井 朝廣
岡山 清秋
山本 昭義

築苑葬祭場増改築予定箇所や駐車場の調査を実施しました。

調査箇所②

宇和町郷内の産業廃棄物処理施設建設現場の調査をしました。



建設中の産業廃棄物処理施設

構成委員

委員長 小野 正昭
副委員長 田中 徳博
委員 中村 敬治
二宮 一朗
兵頭 学
兵頭 勇
梅川 光俊

宇和町では、今年誘致されたコールセンターで研修が行われています。

城川町の窪野三滝公園水車小屋の整備で屋根修繕事業が行われます。

愛媛県で2番目に大きなこの広い西予市。費用対効果だけでは、決して成り立ちません。しかし、財政の厳しさが増す中、経費削減は必至です。バランスを取り、これらから、必要な事業を優先的に実施する必要があります。



皆江地区護岸工事(三瓶町)



林道内場樽線復旧工事(野村町)



小野 正昭
議員

産業廃棄物処理施設を問う

行政は市民の 安心安全に配慮を

問 おイネさん事業における、今後の関係市町村連携および、協力体制について例えば、おイネさんサミット開催の考えは。

総務部長 イネの生誕地長崎市や二宮敬作の生誕地の八幡浜市が、連携・協力の関係市町として挙げられます。更には、ドイツのヴュルツブルク市の「シーボルト協会」でも、シーボルトとイネの縁を大切に育まれており、当市との交流についても、クライン・ラングナー理事長ご夫妻と情報交換しつつ、国際交流深めておりますので、今



おイネさんウォーク

後もイネに縁のある自治体等と連携を深めると共に、サミットの規模には届かないが、先ずは「イネを語るシンポジウム」を計画しています。

問 産業廃棄物処理施設にかかると、県への意見書を「支障なし」とされた理由は、また市長宛てに提出された不同意書の対応は。

市長 県より送付された関係書類を精査した上で、排水もなく、排ガスについても環境省が定めた基準以下であったので、事務手続き上、法的な基準や手続きに問題や誤りがない以上、「支障なし」とする以外なかった。市長宛てに提出された不同意書については県及び事業者に伝えたおり、許可に係る事務手続きは問題ないと判断されます



産業廃棄物処理施設

問 区長会および、水を守る会が問題視している安全安心な水道水の給水についての考えは、また、検査結果の公表方法は。

公営部長 水道法等関係法令に基づき安全な水道水を供給しておりますが、三瓶地区皆様の不安解消のためにも、水道・水源の水質状況を的確に把握し、適正に対応していく必要があります。また検査の結果公表につきましては、水道法の規定に基づき、本庁及び各支所の掲示板に閲覧に供する旨の告示を行っております。また、八幡浜保健所にも報告してま



井関 陽一
議員

コントラ組織の確立を

(畜産農家に一筋の光を)

消防協力事業者の認定制度は どうやる「ほわいとファーム」の活性化

問 円安が進み、輸入乾牧草・穀物飼料の価格が高騰し、畜産農家はかつてない経営ダメージを受けています。根本的な解決を図る為には、自給飼料の増産が不可欠でありコントラ組織やTMRセンターが重要であるがその対応は。

市長 自給飼料の増産の必要性は十分理解しています。先般、酪農経営者協議会・繁殖和牛部会・愛媛県・JA東宇和・西予市にて東宇和コントラクター研究会が設立されたところで、コントラ組織の設立・TMR

問 昨年6月の答弁では、消防協力事業者の認定制度について、事業者に対し西予市の土壌に合った対応を検討することとであったが、その後の経緯は。

Rセンターの将来性・補助事業を活用した収穫機械の確保などを研究している所です。機械の導入にあたっては最大限の努力をいたします。

消防部長 西予市消防団協力事業所標示制度実施要項を制定し平成25年4月1日に施行しました。特徴としては、消防団員数を2名以上に緩和し小規模事業者でも認定可能としています。また、積極的に協力頂ける事業者には表彰を行い、ホームページや広報紙にてアピールし、防災力の組織的な担い手であることとを理解して頂けるよう努力します。



デントコーン収穫(野村町)



ほわいとファーム(野村町)

問 白い卵黄を使ったホワイトロールケーキや中村知事も絶賛される「森のろまん」(カマンベールチーズ)など、まだまだ知名度が低いと思われるがもっとアピール出来ないか。

産建部長 “森のろまん”は施設内の千年の森工房で作られ、昨年の愛媛新聞社主催の第20回

農林水産ショーにて技術開発賞を頂いており、その品質には定評があります。夏、東京ビックサイトで行われる「インターフードジャパン2013」の西予市ブースにも出店予定です。観光協会のホームページや公式フェイスブック等でPRしたい。道の駅の連携やPRの仕方などにも踏み込んで検討します。



源 正樹 議員

フェイスブックの有効活用を

ホームページとの連携で相乗効果を

問

今年3月に西予市公式ホームページが改善され、更なる充実が望まれるが、今後の活用は、明浜支所・企画調整課・産業創出課でフェイスブックを公開しているが、これからの運用方針は。

総務部長

使いやすい工夫を凝らしたことで、アクセス数・リピーター数も増えており、リニューアルの効果が上がっています。課によって情報掲載頻度に差があるため、職員の情報発信能力の強化が必要です。市民・市外への

ウェブでの戦略的情報発信ツールとして、有効活用します。

フェイスブックは、市民や職員の要望が一際多く、導入しました。現在、希望のあつた部署で運用しており、各々が明確に目的を持ち発信しています。情報を分かりやすく発信するため、また部署間での切磋琢磨のため、別々にアカウントを取得しています。今後は、運用状況を判断し、ホームページに専用ページを設ける等の工夫を行います。

問

企業誘致条例が改正され、雇用促進奨励金や企業立地促進奨励金が交付されるようになったが、企業への広報活動等の状況は。近隣他市と比較して制度の比較評価は。

産建部長

西予市情報通信関連企業誘致条例と合わせ、支援内容を拡充し企業誘致の推進を図っています。市広報誌・ホームページでの周知や東京・大阪で開催された愛媛ブランドネットワークで大都市圏企業への周知、企業訪問の際は真っ先にアピールをしています。近隣自治体と比較して、多くの奨励金が交付される制度となっており、思い切った内容だと自負しています。



産業創出課フェイスブックページ

問

来年度、市政10周年を迎えるが、記念式典や行事などの計画状況は。また、これを機に官民連携を深め、民間団体や雑巾がけレース「Z-1」や「卯のほたる」など民間主導イベント等と協力体制をつくる必要があるのでは。

副市長

公式事業である記念式典はもとより、現在庁内連絡調整組織をつくり関連事業について検討しています。民間主導で行政が手助けすることが基本であり理想です。積極的な提案をいただき、広く市民の皆様の協力をいただきます。



10周年の雑巾がけレース「Z-1」(2012年大会)

問

田園ロマンの里づくり基金の目的は。積立て残額と今後の運用方法及びその時期は。

福祉部長

ツルやコウノトリは生物多様性の指標になると言われ、本市はこの事の意義を認識してえさ場やねぐらなどの自然環境の保全を図り、住民と共生できる環境づくりを進めます。基金残高は3千1万円。今後もハード・ソフトの両面を考え、事業の成果が効果的に活かせるようコウノトリの飛来が確実に安定する時期を考え



コウノトリの巣塔

問

西予市宇和町地域古代ロマンの里構想基金の目的は。積立て残額と今後の運用方法及びその時期は。

教育部長

旧宇和町時代域に残る遺跡を素材にした取組みにより、歴史や伝統を継承発展させ、誇りある文化と豊かな心を

問

西予市ファンづくり事業の目的は。その進捗状況と今後の展望は。

副市長

西予市のモノ・ヒト・コトの魅力在全国へ発信して市産品の販路拡大や観光PR、人的交流を拡大していくものです。現在計画しているの

問

新病院の開院に向けて公共交通バスの路線・時刻・便数・料金等の再構築の進行状況は。

総務部長

明浜・三瓶は、宇和島自動車バス路線を新病院まで延長し、1便増やします。また明浜・三瓶の新病院利用者にはバス料金の軽減を検討しています。宇和町では、アンケートの結果、田之筋・伊賀上・下宇和・明間地区は、現在の巡回バスを新病院まで延長し、料金は10kmまで100円で10kmを超える多田・中川・石城旧町地区は予約制のデマンド乗合タクシーを運行します。



建設中の新市立病院

基金について

運用の考え方は方法と時期は



菊池 純一 議員

市民の立場にたった対応を

あなたの大切な人が 相談に来られたら



田中 徳博
議員

一般質問

問 市民に対する対応について、どのような教育や指導をなされているか。

また、民間の対応コンテストやコンシェルジュ等の資格試験、それに伴うスキル手当の支給等で更なる対応の向上を目指してはどうか。

総務部長 当市では、平成17年から全職員を対象に接遇研修・コミュニケーション研修を実施し、住民サービスを基本とした接客マナー！電話対応に重点を置いた実践研修を実施していま

また、毎年新規採用職員を対象に接遇研修と電話対応コンクールへの参加に取り組んでまいりました。特に、福祉サービスについては、相手の立場になって、明るく、丁寧で、わかりやすい「きめ細かな対応」や相手の話をよく聞き、来庁目的を的確に把握し、一ヶ所ですムーズな手続き等ができる「ワンストップサービス」による柔軟な対応を心掛けております。

スキル手当の導入は考えておりませんが、人事評価制度の中で評価をして、職員の能力及び対応力のアップを図ります。

問 害獣駆除の推進・箱ワナの貸与は、鹿の侵入についての把握は、イノシシの箱ワナだ

産建部長 イノシシは昨年比10頭増の千156頭、鹿は2頭減の18頭、タヌキは49頭増の215頭、ハクビシンは26頭増の44頭、サルは4頭増の5頭になっております。箱ワナは平成21年から24年で185基を貸与しております。

現在、イノシシ用の箱ワナは大方、配布ができたので、これからは小型害獣用の箱ワナの配布を検討していきます。



箱ワナ

け貸与し、ハクビシン、タヌキ等には対応しないのか。

問 緊急速報メールの活用と周知について。

総務部長 昨年導入し、発信内容は、「緊急避難指示・避難勧告」津

波・大津波警報」など、事前登録は基本的に必要なく、受信料も無料。配信サービスを開始して1年になりましたが、実際に配信を行う事案は発生しておりません。



J-ALERT連携

三瓶町

あぼなし

まちかど インタビュー

42,000人が住む西予市。市民のみなさんのご意見を聞いてみたいと始めた「まちかどインタビュー」。今回は三瓶町に。 快く取材に応じて頂きました皆様、本当にありがとうございました！

こんなこと聞きました

- ①今頑張っている事
- ②これからチャレンジしたいこと
- ③今困っている事
- ④西予市に望む事
- ⑤西予市議会をどう思う

酒井 千枝(52)

- ①子育て 練習着洗い
- ②ダイエット
- ③特になし
- ④子供たちが安全に暮らせて、将来帰って来たいと思うような魅力ある市にしてほしい。
- ⑤市民の事を考えて話し合ってほしい。



片岡 ヤエ子(83)

- ①ウォーキング
- ②年寄りなので特にない
- ③特になし
- ④特になし
- ⑤市民の為に頑張ってほしい



井上 精一(63)

- ①11年目に入ったジョギング
- ②登山 色々な山に登ってみたい
- ③アルツハイマーの母親の介護
- ④広く目を向けて、隅々まで気を配ってほしい。
- ⑤議会はCATVで見ている。水問題は関係者に説明が足りない。水源地問題をはっきりさせて欲しい。



議会基本条例に基づく研修及び調査研究

政務活動費とは

◇議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部 ◇議会の会派または議員に対し、月額1人1万円交付
◇収支結果表をホームページで公開



南丹市八木バイオエコロジーセンター



公開プレゼンテーション(幕張)

畜産バイオマス 発電を 目指して!!

目指せ！ 四国西予 ジオパーク

仕組みは

2年前から西予市が進めている『四国西予ジオパーク構想』が認定に向けて節目を迎えています。日本ジオパーク認定は、4月に申請書に基づく書類審査、5月20日公開プレゼンテーションと質疑応答、7・8月現地審査に基づき採点シートによる採点が行われ、その点数に基づいて総合的に判断し、9月末頃に日本ジオパークネットワーク加盟の可否が決定されます。

募集を受付した地域(公開プレゼンテーションの順番)
 日本ジオパーク(10地域) 本部半島ジオパーク 佐渡ジオパーク 四国西予ジオパーク 桜島・錦江湾ジオパーク
 おおいた豊後大野ジオパーク

研修しています

三笠ジオパーク 三陸ジオパーク とかち鹿追ジオパーク おおいた姫島ジオパーク 美祿ジオパーク
 議員も知識を身につけることが必要と、昨年10月に世界ジオ認定の室戸ジオパークを視察しました。また、市内のジオについても3月に宇和、三瓶、明浜、野村、城川を視察しました。7月には惣川・大野ヶ原方面を計画しています。

その中で、東京で行われた公開プレゼンテーションでは10地域が日本ジオパーク認定を目指しており、各地域のジオに対する取り組みや思いを聞き、審査委員の厳しい質問にも担当の職員が、地域の実情を説明しながら

八木バイオエコロジーセンター視察研修 京都府南丹市

が主体となっている。

現状

平成25年5月14日、7名(井関陽一、中村敬治、小野正昭、松山清、松島義幸、元親孝志、浅野忠昭)の市議が1台の車に同乗し、交代で運転して独自の視察研修を行いました。

福島第一原発事故後にドイツは脱原発に転換し、再生可能エネルギーの割合を急速に拡大しようとしており、一方わが国でも安全なエネルギーとして再生可能エネルギーが脚光を浴びている。当市には四国一の畜産地域が存在し年間約27万トンの家畜排泄物が発生しており、現在西予市バイオマスタウン構想では堆肥化による農地還元

視察先 ①

八木バイオ(事業主体南丹市)では、家畜糞尿と食品廃棄物等をメタン発酵させることでバイオガスを発生(湿式)させ、これを用いて3台の発電機で220KWh(年間100万KWh)の発電をして、施設内の消費電力を全て賄っている。処理が終了した糞尿は消化液として排出。露地野菜や水稻栽培(キヌヒカリ、ヒノヒカリ)に直接活用されている。残りは脱水し固形分は堆肥化して農地へ還元している。家畜糞尿は農家からトン当たり900円頂いて受入れ。この施設は平成8~13年度にかけ国、府補助を受けて整備。

視察先 ②

カンポリサイクルプラザ(民間企業)では複合型リサイクルシステム(7リサイクル施設)の1つである、バイオリサイクル施設を視察。府外からも収集した有機性汚泥や食品工場から排出された動物性残渣等の有機物からメタンガスを生成(乾式)し、発電売却(660



スラリーインジェクターによる液肥散布

らの確に返答され、勉強をしっかりとしていると感じました。
 西予市の順番では、議員有志(山本昭義、酒井宇之吉、藤井朝廣、森川一義、沖野健三、宇都宮明宏、兵頭学、田中徳博、菊池純一、源正樹)10名の横



市内のジオ研修明浜

断幕とのぼりを持ってステージ横で応援をしました。他の候補地では、議員が応援をする事はなく、審査のポイントが上がったと思います。
 また、担当職員も黒瀬川構造帯を中心とした説明と、ボランティアガイドの協力で官民一体となって取り組んでいる報告をしました。最後に市長自らジオへの思いを話され、審査員にも好感を持っていただいたようです。

これから

日本ジオ認定がゴールではないので、引き続き研修を重ね、子供たちに環境保全や自然・文化遺産に興味を持ってもらい、地域振興や教育につながる仕組みを作りたい。

KWh)や自動車燃料に利用。消化汚泥は農地に還元している。
 西予市でのガス発電実現には、国の新規事業メニューの情報収集、施設の経常経費、原価償却、施設更新等の種々の問題が確認できた。
 また、参加した議員個人の審議能力向上に繋がる研修となりました。